## 6月園だより

令和6.5.17 No.1 かきの木幼稚園 園 長 川井 直子

えんちょうのふでばこ

## 

「本来の幼稚園とは?」その2

――幼稚園教育のあり方――

「幼稚園」は保育園、こども園とは異なり文部科学省の「学校教育体系」の中の1つに 位置付けられています。

幼稚園は学校教育の始まりとも言われます。

学校教育の始まりだからと言って幼稚園は、「国語」「算数」「体育」などといった教科制を採るものではありません。幼稚園は、幅広く活動や体験を通して学習への繋がりを身につけるところです。

本園の7つの「特色ある教育活動」はその一部です。

それらの教育活動の一番中心となるのは、子供自身が意欲的に幼稚園の生活で取り組む 体験です。

当たり前の事柄ですが、それは簡単ではありません。

- 1. 自分自身の身の回りは自分で行えるようになる。
- 2. 友達同士の関係づくり
- 3. 美しいもの、自然や小さな命との出会いやふれ合い。 感じる心、考える力、健康な心と身体と生きる力を育む。

いずれ小学校に進学した時大きな集団の人間関係も円滑に、そして教科学習が進んで行く過程で、この事は初めて出合った事ではないような気がする、そのため躊躇することなく楽しんでしっかり考え理解して学べる――学びへの入口をしっかり記せる、それが幼稚園の教育であり役割です。

「学校の勉強!」を目的とすると、子ども時代の柔軟な心で見つめる範囲が狭まってしまいます。

二度と人間の成長過程で大切な幼児期は訪れません。

もっと深くこどもを理解し、見守り、育みたいものです。

